

2022年(令和4年)度ちゅいネットなはチャリティーボウリング大会 チケット販売について(お願い)

秋涼の候、皆様方には益々のご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃から、市内の地域貢献活動にご尽力いただき感謝申し上げます。

さて、県の社会福祉施設の地域貢献を推進する「ちゅいしいじい事業」のモデル事業も、コロナ禍に始まり収束を待たずに、今年度で3年目の最終年となりました。

法人の事務局として、去る6月に、次年度以降の取組について、25法人の連絡会施設にヒアリングを行い沢山の気づきを得ることが出来ました。まずは具体的な方策として施設間の連携や交流を兼ねて楽しみながら、生活困窮世帯への応援ができる企画として、2022年12月1日(木)～2023年2月28日(火)までの間、那覇空港ゴルフ練習場(株)(愛称：スカイレーン)において、チャリティーボウリング大会を実施することになりました。

つきましては、大会の趣旨をご理解いただき参加券の販売について、下記の通りご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 趣旨 コロナ禍においては経済的な困窮世帯が増加傾向にあり、生活困窮世帯への支援活動として、多くの方々からボウリングを楽しみながら、誰しもが生活困窮となりえることへの理解と関心を寄せて頂くことを目的に開催します。

2. 主管 那覇市社会福祉法人等施設連絡会チャリティーボウリング実行委員会
共催 社会福祉法人那覇市社会福祉協議会

3. 後援 那覇空港ゴルフ練習場(株)(愛称：スカイレーン)

4. 期日 2022年12月1日(木)～2023年2月28日(火)

5. 場所 那覇空港ゴルフ練習場(株)(愛称：スカイレーン)那覇市具志 875 番地 ☎098-858-1005

6. 競技方法 個人戦とし、2ゲームの合計得点で順位決定する。

7. 参加方法及び参加料

◎社会福祉法人那覇市社会福祉協議会の発行する参加券を、那覇市社協で購入し、大会期間中の都合の良い日にプレーする。

◎参加券は1枚1500円、(2ゲームのプレー代金含む)*シューズ代は別途自己負担(300円)です。

◎差引純利益は、生活困窮世帯への見舞金及び食料支援金に充てます

8. 表彰 飛び賞を設け商品を提供し、表彰とします。

*商品は、チャリティー大会のため、高価な商品を少なくしたいと思います。

9. 成績発表及び商品贈呈

◎3月1日(水)にボウリング場内で成績発表しますので、3月5日(日)までに、ボウリング場で商品を受け取って下さい。受け取る際には領収書をフロントに提示してください。

◎1施設20枚以上を目標に販売協力をお願いします。(2022年12月1日(木)～2023年2月28日(火))

◎チケットの購入は、お早めに事務局にお買い求めください。

(添付されているFAX・メール送信状で注文されると事務局で集金に伺います)

*職場の親睦交流ボウリング大会や望年会、新年会等で、ご活用下されば、幸いに存じます。

那覇市社会福祉法人等施設連絡会
チャリティーボウリング実行委員会
実行委員長 新元時雄
社会福祉法人 那覇市社会福祉協議会
会長 新本博司

10. 問い合わせ 社会福祉法人那覇市社会福祉協議会 那覇市金城 3-5-4 ☎098(857)7766
事務局 地域福祉課 ちゅいネットなは(上地、山城) FAX 098(857)6052

なは地域貢献便り11月

「なは地域貢献便り」は、那覇市内の社会福祉法人等施設が、地域の応援団として取り組む情報誌です。

令和4年度小規模法人ネットワーク化(ちゅいしいじい)事業の中間報告

連絡会構成施設25法人のヒアリングと地域福祉懇談会の参画

3年間のモデル事業が今年度で終了するにあたって、令和4年6月にヒアリング調査を25法人行いました。ヒアリング調査を通して、本会の法人がモデル事業の事務局としてやる意義や、多くの異業種同士の交流があって、ソーシャルワーカーとして連携する必要性等沢山の気づきがありました。

7月には、民児協、自治会、地域包括支援センター、社協、市役所で毎年実施している地域福祉懇談会にも、商工会議所と社会福祉施設として参加させていただき、

福祉の担い手の不足による福祉課題が山積する中で、社会福祉施設が得意とする、専門性や福祉の拠点としての存在を理解いただき、普段は関わりのなかった地域関係者と企業、社会福祉施設が繋がりました。

施設の得意とする分野を周知されることで、防災講話や、居場所としての施設開放で包括の認知症カフェや保育園の農園を活用した世代交流、また自治会と保育園のコラボで地域こども見守り隊などの動きが進行しています。



本庁地区 地域福祉懇談会 7/15



真和志地区 地域福祉懇談会 7/21



小禄地区 地域福祉懇談会 7/22



首里地区 地域福祉懇談会 7/26

福祉教育に関する活動(福祉体験・講話活動)

①曙小学校5年2クラスは、5月31日(火)の5校時～6校時にかけて、100名の児童対象に、車いす、視覚障がい者疑似体験を開催しました。

学習テーマ ユニバーサルデザインを知ろう

福祉学習に求めること 福祉体験を通じて相手の立場を想像できるようにしたい。

曙小学校5年生2クラスに車いす、アイマスクによる福祉体験を実施しました。

就労支援センタークローバーの大和屋桂子所長から子ども達に「車いすの取り扱い方や、一人一人、障がいの状態が違うことから、一つひとつの動作にも、相手の状況を声掛けて確認し、車いすを押してあげたり、困っていないかを聴くことが大事です」と話された。

子ども達からは、「足の不自由な人や、目の不自由な人が困った様子だったら、声掛けしたいと思います。」と話され、実際に体験することで、人に対する思いやりの心とは、このような場を体験する事なんだと感じました。



車いす体験の留意点を説明する、就労支援センタークローバーの大和屋桂子所長。



地域の民生委員・児童委員も一緒に参加して、アイマスク体験の誘導を行いました。



福祉教育に関する活動(福祉体験・講話活動)



②真和志高等学校における福祉のお仕事入門講座 (沖縄県福祉人材センターとの連携事業)

真和志高等学校においても、沖縄県福祉人材センターとタイアップし、8月1日～3日にかけて福祉のお仕事入門教室を開催しました。



8月1日、1日目の一限目は、真和志高校みらい福祉科1年生に対し、障害福祉分野について、社会福祉法人ニライカナイ豊村英事務局長、地域連携室の玉城恒室長をはじめ、平良仁志氏、城間優紀氏、嘉手納いづみ氏より、障害福祉について講話を実施しました。



生徒の感想から抜粋

○障がいがあってもなくても、一人一人が幸せに暮らすという基本理念が今の社会に広まってほしいと思った。
○発達障害については、発達、成長しないわけではなく、自分のペースでゆっくり成長するという意味があると改めて理解できた。

2日目の一限目は、地域福祉分野について、那覇市社会福祉協議会の地域福祉課主事の山城博子氏より、那覇市における地域福祉の取組について講話を実施しました。



生徒の感想から抜粋

○見守りティッシュや緊急医療情報キットが無料で配布は、とてもいい取り組みだと思ったから、自分の住んでいる地域でも実施してほしいと思った。
○地域では、子どもから高齢者まで、様々な支援を行っていることがわかった。

2日目の二時限目は、高齢福祉分野について、社会福祉法人沖縄にじの会那覇市地域密着型わらていーだの施設長、玉城善孝氏より高齢福祉の取組について講話を実施しました。



生徒の感想から抜粋

○高齢者のお世話は、トイレ、おむつ、お風呂だけでなく身の周りのお世話、メンタル面でのケアも行うということを知りました。
○老人ホームは、コミュニケーションを楽しみながら、安心できる場所だなと思いました。

3日目は、保育分野について、社会福祉法人雅福社会松島こども園の園長、島朋子氏より保育福祉について講話を実施しました。



生徒の感想から抜粋

○成長するには、愛が必要ということで、「愛の空間で心身ともに豊かに健やかに育つ」という保育理念を持って活動していると分かった。
○今日の講話を聞いて、自分の驚く以上に、子どもの気持ちを考えていて、自分もすぐくためになる部分がありました



福祉教育に関する活動(福祉体験・講話活動)

③石嶺中学校での福祉のお仕事講話

6月17日(金)10時、昨年に続きコロナ禍のなか、放送室において、大名ゆうなの会事務局次長の金城満氏が、福祉のお仕事についてお話しされました。

今回、講話を聞いた石嶺中学校1学年の生徒達は、熱心にメモをとっていました。



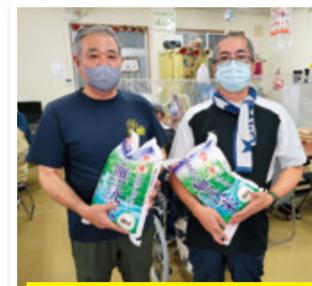
令和4年度連絡会構成施設プロジェクト食料支援

今年も、社会福祉施設から多くの食料の寄贈を受けています。皆様から頂いた物品は、コロナ禍の影響で失業や休業、短時間勤務など多くの生活困窮世帯に配布しています。

また、社協の70周年(6月11日)の際には、蘭の花を頂きました。感謝です。多くの善意をありがとうございました。これからもよろしくお願ひします。

2022年度(令和4年4月1日～9月30日現在) 264点

- | | |
|-------------------------|----------|
| 1 からし種の会アトリエ種子 | 代表 棚原信子 |
| 2 葦の会 オリーブ山病院 | 代表 田頭真一 |
| 3 就労支援サービス(株)就労支援ワークイット | 代表 大畑昭康 |
| 4 正清会(久田病院) | 代表 与儀英明 |
| 5 沖縄中央福祉会彩風の杜なほ | 代表 安里富士子 |
| 6 就労支援センターふくぎ | 代表 國吉正人 |



就労支援センターふくぎ



医療法人 正清会久田病院



からし種の会 アトリエ種子



沖縄中央福祉会 彩風の杜なほ

真和志地区の3法人が、構成施設に加わりました。



那覇市市場児童館 指定管理者(一社)
沖縄じんぶん孝房 代表理事 館長 山崎新氏

家族間に問題あるときは、包括や民生委員、CSWIにつないで、様子を見てもらったりしているので、地域の個別の問題にも関わりの出来る運営の在り方を求めます。



沖縄肢体不自由協会
沖縄南部療育医療センター
総務課長 池田朝彦氏

連絡会に関わることで、当法人が出来る地域貢献活動について考えていきたい。



社会福祉法人おきなわ共生会
福祉複合共生施設なんくる
施設長 当間順子氏

昨年設立した高齢者施設です。コロナが終息すれば、地域連携室を設けていますので、地域の皆様の要望に応じていきたいと思ひます。